

# 事業計画書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 1. 自然普及事業

自然環境の保全とその適正な利用にかかる調査研究、人材育成、普及啓発、顕彰、森林利活用の推進などの事業を行う。

### (1) 調査研究事業

阿寒川水系の水と森林に関する調査を引き続き実施する。財団管理森林内を流れる阿寒川水系上流域における3河川（キネタンベツ川、チクショベツ川については平成16年度より継続、チュウレイ川については、平成27年度より継続）で降雨量、流量、土砂濃度等の調査、水の量・質などの調査を行う。

事業費 1,200,000円（前年度予算 1,200,000円）

### (2) 人材育成事業

#### 1) 一歩園自然セミナー開催事業

阿寒をはじめとする北海道内の野生動植物や自然現象、自然と文化の関わりなどをテーマとして釧路市など近隣市町村において実施する自然セミナーに加えて、今年度より、本事業の充実を図るためアイヌ文化と財団管理森林を含む阿寒湖周辺の自然を関連付けた自然セミナー《アイヌ文化編》を開催し、広くアイヌ文化と自然に対する意識を深める一

助とする。

事業費 1,090,000円（前年度予算 440,000円）

## 2) 前田奨学金助成事業

高等学校以上の就学能力がありながら、経済的理由により進学が困難な者に対し、広く高等教育を通して自然環境の保全などに関する知識の習得を促進するため、前年度に引き続き、釧路市前田奨学金に対して助成を行う。

事業費 1,000,000円（前年度予算 1,000,000円）

## (3) 普及啓発事業

### 1) 観察会開催事業

#### (ア) ネイチャーウォッチング

阿寒湖並びに財団管理森林周辺において釧路市児童などを対象としたネイチャーウォッチング（実体験型自然観察会）を実施し、自然環境の保全に深い理解と関心を持ち行動ができる人材の育成に寄与する。

事業費 434,000円（前年度予算 404,000円）

#### (イ) 自然観察支援事業（特別支援事業）

財団管理森林内において、北海道教育大学附属釧路小学校「自然環境教育協働プロジェクト」と連携し、同校小学2年～6年生を対象に、森林、河川、野生動植物、水生生物、昆虫等を題材に教科教育と連動した自然体験プログラムを実施するほか、財団管理森林の活用を希望する児童・生徒を主体とした団体等への支援を実施する。

また、特別支援事業として、昨年度に引き続き、阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社からの寄付金を活用し、自然環境を守り次世代につなぐ役割を担う子供たちによる財団森林内での自然環境に関する学習がより効果的かつ

円滑に実施するために必要な教材や安全を確保のための物品の購入さらには移動手段などを支援する。

事業費 337,000円（前年度予算 144,000円）  
内200,000円（特別支援事業支出経費）

## 2) 自然環境保全活動助成事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する活動、調査研究、及びその普及啓発用報告書・成果品の刊行に対し助成を行うとともに、令和元年度の助成対象者により実施された事業についての報告会を（公財）秋山記念生命科学振興財団と合同で実施する。

事業費 6,168,000円（前年度予算 6,168,000円）

## 3) 森林利活用推進事業

財団創立30周年を契機に取り組みを開始した財団管理森林をフィールドとする「森の学校」事業をすすめる。

### ○「教育の森」

財団管理森林を教育の場として長期的に継続した活用を希望する学校（小学校・中学校・高等学校）と森林の活用に関する協定を結び、教育活動がより効果的に行われるよう支援する「学びの森」制度を創設する。「学びの森」はいわば“学校林”として自主的な活用が展開されることを期待するものであり、最初の協定先として北海道教育大学附属釧路小学校を想定している。

また、昨年度に引き続き、学校教育の現場で森林並びにその取巻く環境（地形・地質・野生動植物・河川等）を活用できる教員育成に資するため、北海道教育大学釧路校と連携・協働し同教育大学生を対象とした研修を実施する。

- ・財団管理森林を教育的視点による自主的かつ継続的に活用を希望する教育機関との「学びの森」制度の創設。
- ・指導者養成：北海道教育大学釧路校との連携（次世代の教育者に対する教科教材に資するための自然観察、体験

の提供)

○「レクリエーション・健康の森」

自然志向の高まりや国立公園満喫プロジェクト等、国の施策により、財団管理森林での「一步園森の案内人」による森林散策等への関心が高まりを見せてきており、一部事業体において「一步園森の案内人」が不足している状況にあること、さらに、“アイヌ新法”の成立に端を発し、阿寒アイヌコタンにおいても様々な事業が展開されてきているが、そのうちのひとつである「アイヌ文化ガイド事業」においては、財団森林を活用したガイドツアーを視野に入れていることから、「一步園森の案内人」の資格を取得するための養成事業の実施を阿寒アイヌコタンから要請されている。このため、令和2年度から「一步園森の案内人」の養成事業を行うこととする。

また、阿寒湖の地域住民に対し森林に触れ合う機会の提供を行っていく。

- ・「一步園森の案内人」の養成（6名／事業体のガイド2名、アイヌコタンガイド4名）
- ・阿寒湖温泉地域の地元住民を対象とした森林散策会の実施。

○「研究の森」

前年度に引き続き財団管理森林を活用した実習・研究等を支援する。

- ・東京農業大学生物産業学部 卒業研究実施支援（4年次、3年次）
- ・東京農業大学生物産業学部 天然林における実習支援（3年次）
- ・東京農業大学生物産業学部 生物産業体験実習支援（1年次）

事業費

1, 146, 000円（前年度予算 845, 000円）

#### (4) 顕彰事業

北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する分野で活躍している団体、個人の優れた業績をたたえて前田一步園賞（300,000円/件×2件）を贈呈する。また、未来の自然環境を担う子供たち（小中学生）の自然環境の保全活動の取組みの励みとするため、一步園ジュニア自然環境賞（100,000円/件×2件）及び奨励賞（50,000円×5件）を贈呈する。

事業費 2,408,000円（前年度予算 2,588,000円）

#### (5) 地域保全事業

##### 1) 山火事予消防活動助成事業

阿寒湖畔地区の森林を火災から守るため、森林愛護思想の普及啓発と山火事予消防活動への支援、装備の充実に必要な用具などに対して助成を行う。

事業費 300,000円（前年度予算 300,000円）

##### 2) エコミュージアムセンター活動助成事業

阿寒湖畔地区におけるエコミュージアムセンターの活動に対して助成を行い、地域環境の保全に資する。

事業費 800,000円（前年度予算 800,000円）

#### (6) 前田記念館管理事業

前田記念館および庭園の整備と保守管理を行う。

事業費 540,000円（前年度予算 900,000円）

## 2. 森林保全事業

基本財産である山林は、全域が国立公園特別地域、水源かん養等保安林及び鳥獣保護区に指定されており、公益的機能の維持・向上が強く求められている。このため、森林を適正に保全し、風致景観や野生鳥獣生息環境などの、森林のもつ多面的な機能を維持・向上するため、前年度に引き続き保全管理・人工林保育・天然生林改良の各事業を行う。

### (1) 保全管理事業

#### 1) 巡視事業

山火事予防、入林者の危険防止、立木の盗伐防止のため林道入口に監視人を配置するとともに、阿寒湖畔沿いにある道有地の自然環境の保全等について北海道と結んでいる「公有財産管理委託業務契約」に基づき、当該土地及び立木の管理に関する業務を行う。

事業費 2,000,000円（前年度予算 2,000,000円）

#### 2) エゾシカ食害対策事業

北海道の発表によると平成30年度のエゾシカによる道内農林業被害額は38億5,800万円（前年度比7,000万円減）であった。振興局別の農林業被害金額は、5振興局で減少しているものの、空知、石狩、後志、檜山、上川、留萌、宗谷、十勝、釧路では増加となった。なお、被害金額の多い上位3振興局は、釧路が11億6千万円、根室が5億円、十勝が4億6千万円となっている。北海道では平成12年度より「エゾシカ保護管理計画」を策定し個体数管理等の取り組みを推進しており、現在第5期（平成29年度策定）の管理期間（5年間）である。第5期計画期間において個体数指数（釧路市を含む東部は平成5年度の指数を100と設定）を50以下にする目標を設定しているが、平成

30年度の東部個体数指数は120であった。

なお、同計画において個体数指数50は「大発生水準」、25を「暫定目標水準」と定めており、これらの状況を踏まえると、依然捕獲対策の推進が必要な状況にあると考えられる。

このような中であって、財団管理森林内においてはこれまで継続してきた給餌や囲いワナによる捕獲といった対策事業により樹皮喰等の被害を抑制することに成功しているが、楽観視はできない状況である。

このため、令和2年度も前年度同様「囲いワナによる捕獲」、「ビートパルプの給餌」、「樹皮防護ネット巻き」といった対策事業を継続して実施することにより森林被害防止に努める。

対策事業実施にあたって、近年阿寒湖畔市街地のエゾシカ出没が増加傾向にあることを踏まえ、令和2年度において既存の囲いワナより小型の囲いワナを1基新設し市街地付近において捕獲を実施する。この新設1基を加え囲いワナ設置は計3基とする。給餌量については、45トン（前年度計画54トン）とする。

これらの対策とあわせて、エゾシカの生息状況や給餌事業の効果などについて、大学や研究機関と連携して調査を行う。

事業費 12,220,000円（前年度予算 9,340,000円）

### 3) 林道事業

春の雪解け後の全山林道・作業道の支障木除去、ならびに既設の林道・作業道の補修・改良、およびゲート等の関連設備の維持管理を行う。

事業費 4,000,000円（前年度予算 4,580,000円）

### 4) 調査事業

人工林保育・天然生林改良の計画立案に必要な林況を把握するための調査を行う。また、調査に必要な資材等を購入

する。

事業費 1,230,000円（前年度予算 1,800,000円）

5) 危険木等処理

危険木・支障木等の処理（伐採・移動等）を行う。

事業費 500,000円（前年度予算 500,000円）

(2) 人工林保育事業

1) 植樹祭事業

植樹祭に係る苗木の購入、地拵え、下刈を行う。

事業費 320,000円（前年度予算 300,000円）

2) 除間伐・枝打事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、人工林46haの間伐、39haの保育間伐、21haの枝打、および伐採木（500m<sup>3</sup>）の搬出を行う。

事業費 16,710,000円（前年度予算 21,940,000円）

3) 人工造林下刈事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、平成29年度の植栽地5haの下刈を行う。

事業費 230,000円（前年度予算 160,000円）

### (3) 天然生林改良事業

#### 1) 誘導造林事業

天然生林において林分構成の充実を図るため、9ha（平成28年度台風被害跡地5ha含む）の天然生林の樹下にエゾマツ・アカエゾマツ・トドマツの苗木（5,400本）を植栽する。また令和3年度植栽予定地12haの地拵えを行う。

事業費 4,730,000円（前年度予算 3,870,000円）

#### 2) 誘導造林下刈事業

植栽木の健全な成長を促進させるため、平成27年～令和元年の植栽地54haの下刈を行う。

事業費 2,580,000円（前年度予算 1,810,000円）

#### 3) 天然生林間伐事業

天然生林において林分構成の充実を図るため、78haの間伐、7haの更新伐、および伐採木（1,320m<sup>3</sup>）の搬出を行う。

事業費 22,120,000円（前年度予算 27,570,000円）

### (4) 業務費

森林保全事業に係る「旅費交通費」、「諸謝金」、「雑費」。

事業費 1,350,000円（前年度予算 1,350,000円）

### 3. 土地貸付事業

基本財産である土地（山林、宅地等）は、全域が国立公園特別地域、保安林、鳥獣保護区に重複して、あるいは単独で指定されている。さらに阿寒湖畔の土地は、国立公園集団施設地区に指定されているなど、公益性が強く求められている。

このため、土地の管理保全及び適正な利用を図り地域の振興に資するため、前年度に引き続き土地の貸付を行う。

#### (1) 土地保守・管理事業

財団所有地における土地の保守と管理を目的に、主に空地等の緑化（植栽等）や必要に応じてベンチや看板などの設置を行う。

また、市街地の財団管理地内において立木の成長や枯損木等により近隣家屋への支障や人的被害などの危険性が高いものについて、調査・整理伐採を実施する。

事業費

650,000円（前年度予算 1,000,000円）

#### (2) 土地貸付

前年度に引き続き、表3-1のとおり土地の貸付を行う。

(表3-1) 土地貸付等状況一覧

契約区分	平成31年3月現在		令和2年1月現在		備 考
	契約件数	貸付等面積	契約件数	貸付等面積	
有償契約	204件	523,925 m <sup>2</sup>	203件	520,261 m <sup>2</sup>	電力会社送電線敷地41haを含む。
無償契約	20件	356,991 m <sup>2</sup>	20件	356,991 m <sup>2</sup>	北海道、釧路市、森林管理署、アイヌ協会外
計	224件	880,916 m <sup>2</sup>	223件	877,252 m <sup>2</sup>	

## 4. 温泉事業

財団が所有する源泉は、阿寒湖温泉のほぼ全域のホテル・旅館等に温泉を供給しており、その公益性が強く求められている。このため、源泉及び温泉供給設備の拡充と安定供給体制をより一層強化するため、施設整備の計画的な推進を行う。

### (1) 温泉供給施設の整備

#### 揚湯ポンプの拡充事業

各源泉共通予備の温泉ポンプ（7.5kw×1台）及び、揚湯管（8本）を購入し、温泉の安定供給の確保に努める。

事業費 2,170,000円（前年度予算 2,400,000円）

### (2) 新源泉掘削事業

チップ川源泉においてケーシングパイプの腐食による穿孔から冷泉が流入し、温度低下が顕著となっていたことから、一昨年、昨年と2年にわたり千葉県の間東天然瓦斯開発㈱により試験施工としてクイックライナー方式の修繕を試みたが、何れも修繕個所の付近に新たな穿孔が発生したため、復旧を断念した。このため温泉の安定供給の確保を目的として代替源泉の掘削を行うこととし、下記の通り事業費を計上する。

事業費 36,900,000円（前年度予算 0円）

(内訳)

- ・ 試錐費（掘削費） 22,200,000円
- ・ 供給設備（ヘッダー） 2,700,000円

・温泉用水中ポンプ	1, 650, 000円
・水中ポンプ台座（曲管）	300, 000円
・温泉供給設備格納庫	2, 800, 000円
・各種工事費（請負費）	4, 530, 000円
・揚湯管及び配管資材	2, 320, 000円
・各種申請手数料	400, 000円

### （３）源泉及び温泉供給設備の管理

令和２年１月現在の財団所有源泉数は前年度から増減なく１５本（揚湯中１１本、休止２本、観測井２本）である。前年度に引き続き、令和２年度においてもこれら源泉及び温泉供給設備の管理保全に努める。

### （４）温泉供給

前年度に引き続き、表４－１のとおり温泉供給を行う。

（表４－１）温泉供給状況一覧

供給区分	平成31年3月現在		令和2年1月現在		備 考
	契約件数	供給本数	契約件数	供給本数	
有償供給	64件	297本	63件	292本	
無償供給	3件	4本	3件	4本	北海道（阿寒湖畔診療所）等
自家用		3本		3本	暖房等財団諸施設
計	67件	304本	66件	299本	

## 5. その他

### (1) ホームページ管理委託事業

ホームページ及び、入林申請システムの管理・更新等を委託する。

事業費

216,000円（前年度予算

216,000円）